

平成30年度（一財）山形コンベンションビューロー事業報告

□ 活動の概要

コンベンションの開催状況としては、「重いクォークとレプトンに関する素粒子物理学国際会議（91人）」や温泉MICE*として誘致した「第14回高温超伝導高周波領域ワークショップ（73人）」など5件の国際会議と「第46回日本血管外科学会学術総会（1,919人）」などの全国大会が、31件開催されました。東北大会などブロック規模の開催を加えた年間の開催総数は76件、参加者総数は21,656人となりました。

※温泉MICE：温泉ホテルを会場にした山形らしい国際会議の開催手法

また、東京で開催された「第28回国際MICEエキスポ」と「東北地区MICE誘致懇談会」に出展し、首都圏の学会・協会本部やキーパーソンへの個別訪問活動へとつなげました。開催されたコンベンションに対しては、開催助成金や全国規模にも支援枠を拡大したアトラクション費用助成などで主催事務局をサポートし、山形らしい大会になるよう支援を行いました。

コンベンションに関する調査及び広報事業においては、主催者から協力をいただき、開催経費の調査や国内外からの参加者にアンケート調査を実施し、年間の経済波及効果を測定しました。

山形国際交流プラザ管理運営事業では、展示会、研修会等で2,400件の貸出しを行い、来場者数は約46万人となり、村山広域圏（7市7町）並びに関係団体の協力を得て開催しました山形ビッグウイングフェスティバルでは、25,900人の方から来場をいただくことができました。

また、プラザは建設より24年が経過し経年劣化による故障等が増加しております。安全安心を第一に考えた修繕を行うと共に、利用者からの要望にはできるものから素早く対応するなど利便性の向上にも努めました。

令和元年度からのプラザの指定管理については、山形市より引き続き指定管理者として指定を受けています。

事業別活動状況については、次のとおりです。

□ 事業別活動状況

1 コンベンションの誘致及び開催支援事業

地元の主催団体や首都圏等の学会・協会本部等を訪問する誘致活動を継続実施するとともに、商談会等で得た新規案件やグローバル都市連携によるデータを整理し誘致活動に活かした。

また、支援活動では主催事務局をサポートし、開催助成金や貸切バス費用の助成をするとともに、地元業者の紹介など幅広く支援活動を行った。

(1) 誘致事業

平成30年度に開催が決定した主なコンベンション

開催年度	会期	開催名称	開催場所	参加者数	うち 県外者数 (外国人)	規模
令和元年度	8/23-24	第24回日本難病看護学会学術集会	山形県立保健医療大学	500人	400人	全国
	9/8-11	雪氷研究大会(2019・山形)	山形テルサ等	500人	450人	全国
	9/25-27	第655回建設技術講習会	ヤマコーホール	300人	270人	全国
	10/12-13	内視鏡下耳科手術セミナー2019	ホテル樹林	60人	25人 (30人)	国際
	12/7-8	日本乳幼児教育学会	東北文教大学	500人	400人	全国
	3/5-8	11th KIFEE International Symposium on Environment, Energy, and Materials	ほほえみの宿滝の湯	150人	110人 (40人)	国際
令和2年度	6/27-28	第41回日本歯内療法学会学術大会	山形テルサ	800人	750人	全国
	8/22-23	第29回母乳育児シンポジウム	山形テルサ	800人	700人	全国
	10/6-7	第77回全国老人福祉施設大会	山形県総合文化芸術館	2,000人	1,800人	全国
	10/10-11	第55回全国学童保育研究集会 in 山形	山形大学等	4,000人	3,500人	全国
	11/5-6	第51回日本看護学会 在宅看護学術集会	山形テルサ	1,100人	800人	全国
	11/17-18	2020年度第49回全国老人クラブ大会	山形テルサ等	1,600人	1,200人	全国
令和3年度	7-3-4	第29回日本社会福祉士会 全国大会・社会福祉士学会	山形市内	1,500人	1,300人	全国
	8/20-22	第54回全国手話通訳問題研究集会サマーフォーラム in 山形	山形市内	2,000人	1,700人	全国

① MICE誘致商談会への参加

(ア) 第28回国際MICEエキスポ(IME2019)

期 日 平成31年2月28日(木)
場 所 東京都 東京国際フォーラム
参加団体 97団体 91ブース
来場者 首都圏在住の学会事務局等 499人

山形ブース商談数 15団体 22人

(イ) 平成30年度東北地区MICE誘致懇談会

期 日 平成30年9月6日(木)

場 所 東京都 都市センターホテル

参加団体 東北地区コンベンション推進協議会会員(17団体)

来場者 首都圏在住の学会事務局等(30団体 41人)

山形ブース商談数 8団体 9人

② グローカル都市連携

国際会議の誘致に積極的に取り組んでいるビューロー4団体が国際会議データの共有化を図り、約200件のデータベースから山形開催の可能性を探り、約90団体に対し温泉MICE資料等を送付するとともに、11団体を訪問した。

③ 誘致訪問活動状況

首都圏・仙台圏などの学協会本部・キーパーソン等64団体延べ72回訪問
村山広域圏内での誘致活動31団体 延べ53回訪問

④ コンベンション施設ガイドの制作配布

村山広域圏の公的施設及び賛助会員施設を掲載した、山形コンベンション施設ガイドのデザインを一新し、インターネット環境のアイコンやQRコードによる各施設Webサイトリンクなど、使い勝手を良くした。さらに誘致活動での施設紹介に活用した。

(2) 開催支援事業

① 支援訪問活動状況

首都圏・仙台圏・県内域外への支援訪問活動 8団体 8回訪問
地元各種団体等 98団体 延べ256回訪問

ビューローが支援した団体(主催者)数

開催年度	開催予定件数	支援総数(※)
平成30年度 実績	76件	62件
令和元年度	57件	40件
令和2年度	18件	17件
令和3年度	4件	4件
計	155件	123件

※開催予定件数のうちビューローが支援している件数。

② アトラクション支援

国際会議支援で好評であったアトラクション費用の助成を全国規模にも拡大し支援した。

(国際規模上限額100,000円、全国規模上限額50,000円)

[18件総額：963,500円]

開催名称	規模	内容	交付実績
第46回日本血管外科学会学術総会	全国	やまがた舞子	50,000円
重いクォークとレプトンに関する素粒子物理学国際会議	国際	やまがた舞子・芸妓	100,000円
第14回高温超伝導高周波領域ワークショップ	国際	やまがた舞子	65,360円
第41回日本顔面神経学会総会・学術講演会	全国	やまがた舞子	50,000円
(一社)あからん春季全日本研修大会2018	全国	やまがた舞子	50,000円
第7回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナーin山形	国際	やまがた舞子・芸妓	100,000円
第30回日本整形外科超音波学会学術集会	全国	花笠おどり(尾花沢お披露目隊) 長谷堂城山太鼓	50,000円
日本エネルギー環境教育学会 第13回全国大会	全国	花笠おどり(四面楚歌)	30,000円
平成30年度日本教育大学協会全国家庭科部門大	全国	花笠おどり(四面楚歌)	27,200円
(一社)日本鉱物科学会2018年年会・総会	全国	やまがた舞子・芸妓	50,000円
第66回精神保健福祉全国大会	全国	花笠踊り(四方山会)	50,000円
第39回全国国立大学学生指導担当副学長協議会	全国	花笠おどり(四面楚歌)	50,000円
第21回全国農業担い手サミットinやまがた	全国	花笠おどり(山形県花笠協議会)	50,000円
第56回飛行機シンポジウム	全国	花笠おどり(花柳社中)	50,000円
日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会全国研修大会天童大会	全国	花笠おどり(花の会)	50,000円
日本蘇生学会第37回大会	全国	やまがた舞子・芸妓	50,000円
第97回低温工学・超電導学会研究発表会	全国	やまがた舞子	50,000円
産業技術連携推進会議 平成30年度知的基盤部会 総会及び計測分科会・分析分科会年会	全国	やまがた舞子	40,940円

③ コンベンション開催用貸切バスの支援

[16件総額：1,694,520円]

開催名称	規模	参加者数	交付実績
第46回日本血管外科学会学術総会	全国	1,919人	200,000円
重いクォークとレプトンに関する素粒子物理学国際会議	国際	91人	90,000円
第14回高温超伝導高周波領域ワークショップ	国際	73人	100,000円
第41回日本顔面神経学会総会・学術講演会	全国	326人	100,000円
(一社)あからん春季全日本研修大会2018	全国	105人	89,640円

第30回日本整形外科超音波学会学術集会	全国	366人	100,000円
第11回国際絞り会議 2018 in JAPAN	国際	231人	100,000円
日本エネルギー環境教育学会 第13回全国大会	全国	150人	64,800円
第42回日本神経心理学学会 学術集会	全国	435人	100,000円
(一社)日本鉱物科学会 2018年年会・総会	全国	230人	100,000円
第21回全国農業担い手サミット in やまがた	全国	2,117人	200,000円
日本蘇生学会 第37回大会	全国	421人	56,160円
第97回低温工学・超電導学会研究発表会	全国	329人	96,120円
産業技術連携推進会議 平成30年度知的基盤部会 総会及び計測分科会・分析分科会年会	全国	233人	97,800円
Spin Mechanics 6	国際	69人	100,000円
第4回全国サクランボ研究大会 山形県大会	全国	404人	100,000円

④ コンベンション開催助成金

[11件総額：5,308,500円]

開催名称	規模	主会場	参加者数 (交付対象)	交付実績
第46回日本血管外科学会学術総会	全国	山形テルサ 山形国際ホテル	1,919人 (1,000人)	1,500,000円
重いクォークとレプトンに関する素粒子物理学国際会議	国際	山形テルサ	91人 (国内19人 国外69人)	408,000円
第14回高温超伝導高周波領域ワークショップ	国際	たかみや瑠璃倶楽リゾート	73人 (国内47人 国外26人)	196,500円
第7回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナー in 山形	国際	山形医学交流会館	117人 (国内43人 国外15人)	147,000円
2018年度第46回画像電子学会年次大会	全国	山形テルサ	244人 (235人)	352,500円
第30回日本整形外科超音波学会学術集会	全国	山形国際ホテル	366人 (250人)	375,000円
第11回国際絞り会議 2018 in JAPAN	国際	東北芸術工科大学	231人 (国内123人 国外73人)	586,000円
第35回有機合成化学セミナー	全国	ほほえみの宿滝の湯	205人 (205人)	307,500円
第56回飛行機シンポジウム	全国	山形テルサ	473人 (430人)	645,000円
日本蘇生学会 第37回大会	全国	天童市市民プラザ 天童ホテル	421人 (国内203人 国外5人)	332,000円
第97回低温工学・超電導学会研究発表会	全国	山形テルサ	329人 (306人)	459,000円

⑤ 山形空港、山形駅、天童駅に歓迎看板を掲示

27件の国際規模・全国規模のコンベンションに対し歓迎看板を掲示した。

⑥ 「コンgresバッグ」「主催者向け便利ツール(地図・写真等)」の提供

会議主催者が参加者に配布するコングレスバッグを、29件の主催者に合計7,800袋を有償支援した。また主催者向け便利ツール提供や「山形紹介DVD」の貸出、開催地の観光物産等情報提供を行った。

2 コンベンションに関する調査及び広報事業

コンベンション開催における年間の経済波及効果を測定した。また、主催者と参加者に好評である山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」の制作と同Web版の更新、スマートフォン用アプリ「やまがたMICEなび」などICTツールを活用し、域内の情報発信を行った。

(1) 調査事業

① コンベンション開催による経済波及効果調査

平成30年度に7市7町(村山広域圏)で開催されたコンベンションのうち、11件に対し主催者経費の調査と参加者アンケートを行った。

結果、平成31年度に村山広域圏で開催されたコンベンションによる山形県内への経済波及効果は、約21億9,400万円となった。

開催件数：76件 参加者総数：21,656人

1大会あたりの開催経費 平均16,256,098円/件

参加者1人あたりの滞在中経費 平均43,620円/人

② コンベンション地図、交通アクセス・データの調査更新

主催者向けコンベンション地図・交通アクセス等データを更新し提供した。

③ 各種会議への参加(主なもの)

・平成30年度

(一社)日本コングレス・コンベンション・ビューロー(JCCB)総会

期 日 平成30年6月25日(月)

場 所 東京都 京王プラザホテル

・平成30年度第1回JCCBコンベンション・ビューロー部会

期 日 平成30年7月19日(木)・20日(金)

場 所 鹿児島県鹿児島市 城山ホテル鹿児島

・平成30年度東北地区コンベンション推進協議会定例総会

期 日 平成30年8月23日(木)・24日(金)

場 所 宮城県仙台市 仙台国際センター

・平成30年度第2回JCCBコンベンション・ビューロー部会

期 日 平成30年12月12日(水)

場 所 東京都江東区 未来科学館

④ コンベンション開催情報の収集と開催意向の調査

大学・行政・各種団体・施設 310 件に対し調査を実施、延べ 14 件の情報提供をいただいた。

(2) 広報事業

① ホームページや SNS による情報発信

ホームページ、やまがた M I C E なび (無料アプリ) や F a c e b o o k などの SNS を活用し村山広域圏の情報を発信した。

② 山形おもてなしガイド 「ウマイベヤマガタ」の企画・制作及び配布

コンベンション参加者に飲食店、宿泊、観光などを紹介した。また、W e b 版については、リニューアルしスマートフォン等で閲覧しやすくし、検索機能も充実させた。

冊子：制作部数 50,000 部

サイズ等 縦 200mm×横 95mm×厚さ約 4mm フルカラー 129 頁

広告掲載店 185 店

③ ビューロー紹介パンフの増刷配布

主催者にビューローの支援内容を紹介するためのパンフレットを増刷し配布した。

④ 国際会議誘致用リーフレットの作成と配布

温泉 M I C E をはじめ海外の参加者に喜ばれる、山形らしい開催環境をまとめたリーフレットを作成し、誘致活動での配布と首都圏主催者・キーパーソンへのダイレクトメールに同封した。

⑤ J R 山形駅自由通路ショーケースの活用による広報

J R 山形駅東西自由通路アピカ・ショーケースを活用し、カレンダーの掲示や支援コンベンションのポスターを掲示するなどし、開催されるコンベンションを周知した。また、ビューローのコンベンション支援を紹介するパネルを作成し掲示した。

⑥ ホームページによる 7 市 7 町動画配信及びプラザ内観光物産展示コーナーへの常設展示

昨年度から開設したご当地 P R 動画を集めたページの更新を行うとともに山形国際交流プラザ内の村山広域圏観光物産展示コーナーで、観光・物産の紹

介をした。

⑦ 機関紙「ルネッサンス」の発行（年2回）

年2回（7月、1月）発行し、ビューロー活動の周知を図るとともに、賛助会員の紹介等を行った。

⑧ マスコミ等を活用した広報

- ・新聞への広告掲載 3回
- ・テレビCM 2局
- ・山形大学広報誌への広告掲載 2回
- ・山形空港での電飾看板の掲示

山形空港の到着口に電飾看板を掲示しビューローの広報を行った。

3 山形国際交流プラザの管理運営事業

（1）平成30年度の利用状況など

展示棟の利用件数が過去最高の実績となり、施設利用料については昨年度と比較すると約9%増加した。

① 利用件数 (単位：件)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
展示棟	149	131	137
会議棟	2,194	2,264	2,158
その他	57	72	62
合計	2,400	2,467	2,357

② 来場者数 (単位：人)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
来場者数	452,034	461,370	511,908

開館以降来場者数累計 16,503,661人

③ 施設利用料 (単位：円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
利用料	180,333,454	166,626,864	191,830,590

（2）安全安心の確保

災害時等に備えた「危機対応マニュアル」を改訂整備し、緊急時に迅速な対応が取れるよう体制づくりを図った。

また、山形市市民防災センターを訪問し、地震や火災に対する知識や不測の事態にも対応できるよう応急処置を学習するなど、職員の防災意識向上に努めた。

(3) 適切な維持管理及び利用者への満足感の提供

利用者からの要望が多かった館内Wi-Fi機器設置等を行い、利便性の向上に努めた。また、施設や設備等に不具合が生じた場合は適切な補修を行い、利用者へ支障がないよう配慮すると共に、施設内照明を段階的にLED化するなど、節電や省エネにも努めた。

① 建物老朽化診断調査の実施

平成6年の設置から24年が経過し、施設、設備等の故障が目立ち始めたことから、専門家による建物全体の調査を実施した。

期 間：平成30年6月1日～平成30年12月28日

② 利用者情報交換会の開催

利便性の向上並びにプラザの利用促進を目的として、主催者から利用時における要望や意見等を伺い、改善できるものについては速やかに対応した。

期 日 平成30年12月21日（金）

場 所 山形国際交流プラザ会議室

参加者数 14人

③ モニタリングの実施

施設を利用された主催者及び来場者を対象にアンケート調査を実施した。

それらにより得た要望などについては、できるものから対応し、リピーターの確保に努めた。

〈主催者対象〉

調査期間 平成30年9月1日～30日

配布枚数 159枚（回収率：54.1%）

④ 南東北3県（宮城県・福島県・山形県）施設情報交換会の開催

宮城県・福島県の類似施設担当者を集め、施設管理の状況や利用者からの要望等について意見交換を行った。

期 日 平成30年12月14日（金）

場 所 山形国際交流プラザ会議室

⑤ 全国展示場連絡協議会等への参加

全国57施設で構成されている全国展示場連絡協議会の会議に出席し、他施設との情報交換を行い連携の強化を図った。

<総 会>

期 日 平成30年5月31日(木)・6月1日(金)
場 所 福岡県 北九州国際会議場

<実務担当者会議>

期 日 平成30年11月21日(水)・22日(木)
場 所 静岡県 プラサ ヴェルデ

<北海道・東北ブロック会議>

期 日 平成30年8月30日(木)・31日(金)
場 所 北海道 アクセスサッポロ

(4) 自主事業の実施

① 山形ビッグウイングフェスティバルの開催

この催事は、平成26年に山形ビッグウイング開設20周年を記念して始まったもので、5回目の開催となった。

「食」をテーマとした村山広域圏(7市7町)うまいものフェアを開催し、物産品・名産品等の販売やPRを行った。

共催事業として、山形市伝統的工芸品まつり、みちのくこけしまつりを開催した。

期 日 平成30年12月1日(土)・2日(日)
場 所 山形国際交流プラザ 展示場1234
来場者数 25,900人

② 山形国際交流プラザ館長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

国際交流広場の利用拡大及び市民の健康増進を図ることを目的に、山形市グラウンド・ゴルフ協会の協力を得て行った。

期 日 平成30年6月19日(火)
場 所 山形国際交流プラザ 国際交流広場
参加者数 237人

③ 地場産業紹介コーナーの設置

地元産業の振興を図ることを目的として、プラザ1Fエレベーター前の展示コーナーに「山形市美と技の伝統工芸」と題し、みちのく刺し子などの展示を行った。

④ 子どもの映画教室の開催

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの利用促進並びにPRを目

的とし、認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭の協力を得て実施した。小中学生を対象にくるくる幻燈機(手作りアニメーションプロジェクター)を作成し、出来上がった作品の試写等を行った。

期 日 平成31年3月21日(木)
場 所 山形国際交流プラザ 試写室他
参加者数 16人

(5) 利用促進に向けたセールス活動等の実施

プラザの利用拡大を目的に、主に県外利用者や過去の利用者、類似施設を使用している主催者等を訪問した。また、県内の企業等にチラシを発送しプラザのPRに努めた。

(6) 山形国際交流プラザ指定管理者の指定

令和元年度からのプラザの指定管理について、平成30年9月に山形市へ申請書を提出し、平成30年12月山形市議会定例会の議決を経て、山形国際交流プラザの指定管理者として指定を受けた。

(指定の期間：平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)

4 総務

(1) 理事会・評議員会等

① 監事監査

開催日 平成30年4月27日(金)
開催場所 山形国際交流プラザ
監査内容 平成29年度事業報告等、平成29年度計算書類等、平成29年度公益目的支出計画実施報告

② 第1回通常理事会

開催日 平成30年5月29日(火)
開催場所 ホテルメトロポリタン山形
決議事項 平成29年度事業報告及び同附属明細書の件、平成29年度計算書類及び同附属明細書の件、平成29年度公益目的支出計画実施報告の件、評議員会の日時及び場所の件、評議員会の目的事項の件
報告事項 平成30年度業務執行状況の件

③ 定時評議員会

開催日 平成30年6月14日（木）
開催場所 山形国際ホテル
決議事項 平成29年度計算書類の件
報告事項 平成29年度事業報告の件、平成29年度公益目的支出計画
実施報告の件

④ 第2回通常理事会

開催日 平成31年3月26日（火）
開催場所 山形グランドホテル
報告事項 平成30年度第1回理事会以降の事業執行状況の件、給与規程
一部改正の件
決議事項 平成30年度収支補正予算の件、令和元年度事業計画の件、
令和元年度収支予算の件、経理規程の一部改正の件、評議員
会の決議の省略（書面表決）の件、評議員会の目的事項の件

（2）人材育成

組織形成や専門的な知識を深めることを目的とし、各種研修に参加し職員の能力開発を図った。

① 全国公益法人協会講習会

期 日 平成30年7月12日（木）・13日（金）
場 所 東京都 損保会館

② （一社）山形県経営者協会主催 新入社員フォロー研修

期 日 平成30年10月30日（火）
場 所 山形国際交流プラザ

③ 平成30年度下期人材育成研修会

期 日 平成30年12月13日（木）・14日（金）
場 所 東京都 JNTO会議室等

（3）自衛消防総合訓練の実施（年2回）

消防法で定められた自衛消防総合訓練を、財団職員と常駐委託業者が一体となって実施した。

期 日 1回目 平成30年 6月21日（木）
2回目 平成30年12月12日（水）